



第7回 校内研究授業を振り返って

11月4日(水)に第7回校内研究授業を実施しました。今回は、3年B組において数学科 澤田先生, 2年A組において英語科 重田先生, そして1年C組において美術科 千葉先生に授業をしていただきました。講師として尾道市教育委員会教育指導課 村上祥太郎指導主事をお招きして指導・助言していただきました。今回の学びをそれぞれの先生方の授業実践にいかしていきましょう。



「相似な図形」数学科 澤田先生

澤田先生には、相似な三角形で、相似比と面積比の関係を見いだすことを目標とした授業を展開していただきました。授業冒頭、Google社の入社問題を取り上げ、興味を引くことに加え、単元のゴールイメージをもつための導入を行いました。そこからさらにガリバー旅行記をもとにした学習課題を提示し、本時のねらいへと迫りました。生徒の興味・関心を高めながら数学的な見方・考え方をはたらかせる工夫の見られる授業でした。



～指導・助言～ 尾道市教育委員会教育指導課 村上祥太郎 指導主事より

- Googleの問題→意欲を高める「ちょっと挑戦してみようかな」と思える内容
- 口に出さないが「難しそうだけど、ちょっとやってみようかな」という雰囲気があった
- 練り上げられた指導案であった
- ▲小らでの学習内容→それにつまずくとそれ以降の学習がどんどんしんどくなる
- 既習事項を用いた丁寧な指導が必要

※数学部会のため、授業後の協議は実施していません。

「接続詞を使って、意見文を書く」英語科 重田先生

重田先生には、本単元で学習した接続詞を使って、日常的话题について意見文を書くことを目標とした授業を展開していただきました。メイ先生からのビデオメッセージから、尾道を紹介するという課題設定を行い、本時の目標達成に向けた意識付けを行う導入の工夫が見られました。また、思考ツールの活用や、書き方モデルの提示など支援の工夫が多く見られました。



～指導・助言～ 尾道市教育委員会教育指導課 村上祥太郎 指導主事より

○ビデオレターで課題が渡される→マッピングを用いて意見や考えを出すための工夫

○コミュニケーションを取るために工夫→マッピング

▲マッピングの意見の広がりを持たせる

▲音声に慣れ親しませるための工夫をする



～グループ協議より～

○ペアトークの参加と雰囲気が良い

○視覚支援（貼り物教材）とICT 機器の活用

○興味のひく導入→課題設定までがスムーズ

▲教員が話しすぎ（生徒の発話＜教員の発話）

▲マッピングを活用して意見文を書くことが十分にできていなかった

▲時間配分の見直し。尾道の紹介スライドはもっとスムーズに！→生徒の活動の確保

「作品のおもしろさや良さを伝え合う」美術科 千葉先生

千葉先生には、お互いの作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを伝え合い、見方や感じ方を広げることを目標とした授業を展開していただきました。作品のみならず、これまでの制作過程もパワーポイントで可視化し、生徒に着目すべき点を明確にして鑑賞を実施する工夫が見られました。これまでの制作の軌跡が見え、発表内容にいかされていました。



～指導・助言～ 尾道市教育委員会教育指導課 村上祥太郎 指導主事より

○鑑賞のポイントを押さえており、情景を捉えることができていた

○この時間を迎えるまでの、流れ（単元構想）がしっかり作られている

～グループ協議より～

○構造的な授業（目標-振り返り-改善点）が毎時間できているのがわかる

○本単元で育成すべき資質・能力が明確である

○班ごとの振り返りもあり、それが次の授業にいかされている

○評価の視点を与えており、PDCA サイクルを意識した授業展開である

▲発表の際、工夫した点などをホワイトボードを活用して、可視化する

▲教員の評価やコメントを的確に、タイミングを逃さずに！

▲質問を考えさせることで、生徒間の対話が増え、意見がより深まる

残すところあと数回の校内研修となりました。このコロナ禍の中でも、できる形で研修を重ねられていることを、改めてありがたく感じます。この学びを普段の授業実践にいかしていければと思います。また、来年度も見据え、評価の在り方や1人1台端末に向けた取り組みも、加速していければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

次回 第8回 校内授業研究会は、

12/2（水）：社会科 田中先生・国語科 吉田先生です！